



# 時 栃 報 幼

題字 / 栃木県知事 福田富一氏

## 第 144 号

令和3年6月20日

一般社団法人 栃木県幼稚園連合会

〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館

☎028(622)2821 FAX 028(622)2816

●編集人 / 堀 昌道 ●発行人 / 石嶋 勇

■栃幼連ホームページ <http://www.youchien.or.jp>



### 令和三年度を迎えて

栃幼連理事長 石嶋 勇



令和三年度（一社）栃木県幼稚園連合会五月通常総会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて会場での参加とリモート（ZOOM）による参加が可能となりました。

私は、栃木県幼稚園連合会理事長として十年目のスタートを切らせていただきました。皆様の温かいご支援ご協力を引き続きお願い申し上げます。

昨年度（令和二年度）新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックとなつてから一年以上が経過していますが、まだまだ先の見えない状況です。しかし欧米諸国では既に新

型コロナウイルスワクチンが開発されて多くの方々へ接種が行われております。日本政府もワクチンの獲得に全力で取り組んでいるところでありますが、残念ながら十分なワクチンの獲得に至っておりません。

新型コロナウイルス感染症への対策は危機管理上重大な課題であり国民の生命を守るため、これまで以上の水際での対策や蔓延防止対策を行い医療の提供拡大について国を挙げて講じているところです。

そんな困難なときに東京オリンピック・パラリンピック開催がどうなるのか？日本国民のみならず全世界の関心事であります。四年に一度のアスリートの皆様の活躍を期待すると同時に人類が可能性（記録など）への挑戦する機会でもあります。

各国の代表になつた選手や開催に向けて準備してこられた関係者のご苦勞を考えますと感染者数が劇的に減少し開催できることを願っております。

しかし現在は新型コロナウイルス感染者が減少していない状況であり

ます。（むしろ増加傾向にある）これでは開催するのは非常に厳しいのではないのでしょうか。

自分のために家族や友人など周りの方々のために不要不急の外出をひかえて「感染しない」「させない」など私たち国民一人ひとりが自覚をもって行動する以外方法はないと考えます。

一日も早いコロナとの戦いにピリオドをうち、経済活動を活性化して活気ある日常生活に戻って欲しいと願っております。

最後に栃幼連は今後も新型コロナウイルス感染症予防対策に努め各種研修会など各委員会と県担当部局との連携・そして情報を共有し保育内容の更なる向上を目指して全力で取り組んでまいります。

会員の皆様には、今後とも指導ご鞭撻の程重ねてお願い申し上げます。

### 令和三年度を迎えて

こども政策課長 田中島 浩子



新年度となり早くも2カ月が経過しました。発生から一年以上経過する新型コロナウイルス感染症は変異を伴いながら拡大・縮小の波を繰り返しており、ワクチン接種が開始さ

れたものの未だ予断を許さない厳戒態勢が続いております。

このような長期間に渡る緊張状態の中、一般社団法人栃木県幼稚園連合会及び会員の皆様におかれましては、様々な工夫により感染症拡大防止に御尽力いただきながら、本県の幼児教育の振興や充実のため、格別の御尽力と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、昨年度貴会で初めて行われた「教育研究チャレンジ事業」をはじめ、教育・保育の質の向上のために日々取り組んでおられる姿勢に改めて敬意を表する次第です。

さて、我が国では急速な少子化の進行、核家族化や地域社会における人間関係の希薄化などによる家庭や地域の子どもの育てる力の低下、子育て家庭の孤立化、児童虐待の増加など、子ども子育てを取り巻く様々な問題は、コロナ渦において深刻さを増しています。

県では「とちぎ子ども・子育て支援プラン（2期計画）」に基づき、結婚、妊娠、出産、子育ての各段階に応じた切れ目ない支援を更に推し進め、県民が安心して子どもを生み、育てることができ、子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現を目指しております。

子どもたち一人ひとりが、かけがえのない社会の宝として見守られ、すくすくと育つことは、保護者の方々をはじめ、子ども・子育てに携わる全ての人々の共通の願いです。子どもたちが元気な声を響かせ、心豊かに成長できるよう、地域におけ



3年度 定時総会

# 令和3年度 定時総会

期日 令和三年五月二十日(木)  
会場 コンセール

る子育て支援の中核的役割を担って  
いただいた。令和三年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、定時総会を一堂に会しての開催ではなく、書面決議のみであったため、会場での開催は二  
年ぶりとなった。本年度は、会場参加とリモート参加のいずれかでの参加となり、多くの園が参加した。今井副理事長が開会を宣言したあと、石嶋理事長の挨拶で「コロナ禍で多くの行事が開催できない事態となったが、一日でも早い収束を願いたい」と述べられた。

ご来賓に、栃木県議会 副議長 佐藤良様、栃木県保健福祉部 ことも政策課 課長 田中島浩子様、栃木県幼児教育センター センター長 堀江賢様、栃木県保健福祉部 ことも政策課 子ども・子育て支援班 班長 齋藤賢治様、栃木県保健福祉部 ことも政策課 課長 補佐 和氣圭子様のご臨席を賜り、コンセールにおいて、令和三



年度 定時総会が開催された。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、定時総会を一堂に会しての開催ではなく、書面決議のみであったため、会場での開催は二  
年ぶりとなった。本年度は、会場参加とリモート参加のいずれかでの参加となり、多くの園が参加した。今井副理事長が開会を宣言したあと、石嶋理事長の挨拶で「コロナ禍で多くの行事が開催できない事態となったが、一日でも早い収束を願いたい」と述べられた。



議案では、報告

期日 令和三年五月二十日(木)  
会場 コンセール  
出席者 九十二名

## 栃木県私立幼稚園振興連盟 令和三年定時総会

【資格審査】  
出席園 百八園  
会場参加 四十一園  
リモート参加 六十七園  
委任状提出園 七十六園  
【議事録署名人】  
認定こども園 さくらんぼ幼稚園  
岡野裕子先生  
認定こども園 愛育幼稚園  
酒井康晴先生

事項として、令和二年度 事業報告を石嶋理事長、各委員会委員長より報告された。審議事項では、第一号議案 令和二年度 収支決算書類及び附属明細書の承認について審議し、満場一致にて可決承認された。馬場副理事長の閉会のことばで定時総会を閉会した。

【議案】  
① 令和二年度 事業報告並びに収支決算の承認について  
② 令和三年度 事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について  
③ 自民党栃木県私立幼稚園支部 令和二年度 収支決算並びに令和三年度 収支予算(案)の承認について  
以上、三議案についてすべて原案通りに承認された。



による参加者には、事前に総会資料がメールにて送られた。議長選出では、認定こども園 園山みどり幼稚園の吉水義浩先生が選出された。資格審査、議事録署名人及び記録人を選出したのちに議事審議へと移った。令和二年度は、県知事選挙応援などの活動もあったが、多くの事業が新型コロナウイルスにより、取りやめになった。それに伴い、決算額が当初予算額と大きく異なるなどのさまざまな影響が見られることとなった。

令和三年度も同様な状況が予想されるが、とにもかくにもコロナ感染の予防と、人命そして健康維持が何よりも大切である。今年度も加入者のみならず、幼児教育に関わるすべての方々の健康維持と増進を願って止まない。





教員養成機関・栃幼連  
懇談会

期 日：令和三年五月二十七日（木）  
午前十時三十分～

会 場：コンセーレ（アイリスホール）  
参加者：出席養成校（順不同）

宇都宮ビジネス電子専門学校  
教務課 学校長 羽石良久氏  
就職指導部 部長 分田浩一氏

宇都宮共和大学  
教育実習担当 准教授 市川 舞氏  
足利短期大学 准教授 小野寛久氏

こども学科 講師 茂木克浩氏  
こども学科 講師 後藤正人氏

人間教育学科 学科長 大島澄子氏  
キャリアサポート課 課長 白鷗大学

教育学部 講師 山路千華氏  
教育学部 実習講師 今里淳平氏

作新学院大学女子短期大学部  
幼児教育学科 教授 坪井 真氏  
キャリア就職支援課 課長 員賀 勇氏

配置もソーシャルディスタンスが取られ、山中総務委員長  
司会により、石嶋勇理理事長挨拶が述べられ、次の事項について協議が行われた。

① 栃幼連加盟園による「合同就職説明会」の実施について

この件について馬場副理事長より情報誌、ポスター、チラシを三セットで六月十日に大学側に送付し、ポ



スタワーは「就職説明会」の周知に使用していただき、コロナ感染症拡大予防の観点から二部制にし、前半の部が終わりたら三分消毒入れ替えをして、後半の部を行う。また

何かあった場合には学生に直接連絡ができるように事前申し込みになっていること、事前申し込みにはチラシのQRコードを読み取って、申し込みができるので、利用を勧めた。大学側からはコロナ禍においてそのような取り組みをしていただいていたと好意的な意見を頂いた。

② 「就職情報誌」及び「栃木の幼稚園・認定こども園求人情報サイト」への広告（協賛）について

チラシと一緒に情報誌をお配り頂くことになる。養成校広告の部分はカラー印刷となるので、広告の原稿もカラーで依頼する。求人情報サイトの広告については一律に載せるのは難しいので五十音順となることを了解して頂く。今井副理事長より採用試験の時期につ



教員養成校の進路状況実態調査票まとめ

	卒業者数	幼稚園		認定こども園		保育所(園)		その他	その他に就職した具体的職種	令和3年度卒業見込み者数
		県内	県外	県内	県外	県内	県外			
足利短期大学	68名	2名(3%)		25名(37%)		22名(32%)		19名(28%)	児童養護施設・障がい者支援施設・一般企業、進学、他	72名
		1名(50%)	1名(50%)	19名(76%)	6名(24%)	14名(64%)	8名(36%)			
宇都宮共和大学	28名	2名(7%)		11名(38%)		9名(31%)		6名(24%)	公務員(保育士)・障がい者支援施設・乳児院・サービス業	40名
		2名(100%)	0名(0%)	11名(100%)	0名(0%)	8名(89%)	1名(11%)			
宇都宮ビジネス電子専門学校	14名	0名(0%)		5名(36%)		4名(28%)		5名(36%)	保育士(託児所・障がい児通所施設)・チャダグンス(宇都宮プレックス)・営業職(一般企業)	7名
		0名(0%)	0名(0%)	5名(100%)	0名(0%)	4名(100%)	0名(0%)			
國學院大學栃木短期大学	72名	4名(6%)		17名(24%)		24名(33%)		27名(37%)	小学校教諭・障がい者支援施設・編入学	42名
		4名(100%)	0名(0%)	15名(88%)	2名(12%)	18名(75%)	6名(25%)			
国際看護介護保育専門学校	32名	4名(12.5%)		1名(3.1%)		21名(65.6%)		6名(18.7%)	アミューズメントパーク・アパレル、等	35名
		4名(100%)	0名(0%)	1名(100%)	0名(0%)	16名(76.2%)	5名(23.8%)			
作新学院大学女子短期大学部	128名	16名(13%)		50名(39%)		50名(39%)		12名(9%)	公務員(公立保育士)・施設・児童館・一般企業	122名
		15名(94%)	1名(6%)	49名(98%)	1名(2%)	46名(92%)	4名(8%)			
佐野日本大学短期大学	89名	10名(11.2%)		17名(19.1%)		41名(46.1%)		21名(23.6%)	社会福祉施設(乳児院、障がい児施設等)・一般企業(販売職等)・進学(看護系専門学校)	70名
		10名(100%)	0名(0%)	16名(94%)	1名(6%)	34名(83%)	7名(17%)			
白鷗大学	96名	4名(4.2%)		25名(26.0%)		37名(38.5%)		30名(31.3%)	一般企業・教員(小学校)・児童養護施設・障がい者支援施設・放課後デイサービス他	84名
		2名(50%)	2名(50%)	20名(80%)	5名(20%)	26名(70%)	11名(30%)			
合計	527名	42名		151名		208名		126名		472名

# コロナ禍を踏まえた 今年度の事業内容について

## 総務委員会 委員長 山中章弘



昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界各国において人との接触をなるべく避ける非接触化の動きが進んでおり、コロナ禍を機にリモートワークを導入する企業が増え、今やリモートワークは新しい働き方として社会に浸透しつつあるように思えます。この流れは、幼稚園連合会の中でもリモート会議や研修など様々な所で使われ、大きな成果を挙げています。

- ④ 教育実習について  
巡回実習については、東京圏から通っている先生については電話巡回としていたり、観察実習が遅くなってしまうために、本実習との期間が短くなってしまい恐縮しているとの報告があった。
- ⑤ 幼稚園・認定こども園等の就職に関する諸問題について  
船田副理事長より人材派遣会社を使っている学生がいるが、どう考えているのか尋ねたところ、学生には使わないように指導しているが、実際には使っている学生が相当数いることが判明した。認定こども園委員長の黒田先生より内定承諾後の辞退の申し出についてどう考えているか尋ねたところ、公務員試験に合格した場合が辞退の申し出があるかもしれないが、その場合は事実を告げ了解を得るよう回答がなされた。

オンラインの有効性が示された一方で、対面でなければ対応が困難なものや成果が生じにくいものなど、課題に関する意見もある中で、総務委員会ではすべての活動が行える様、進めていきたいと思っております。

その活動の中でも合同就職説明会の対面での開催の重要性。

皆さんも感じられていると思いますが、人と人が顔を合わせて話すことで、場の雰囲気や和んだり、相手の温かさが伝わったり、良い関係が築いていけると思います。開催に

あたり、人数制限、時間短縮、消毒の徹底、新型コロナウイルス感染症対策をしっかり行い、総務委員一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願致します。

## 教育研究委員会 委員長 小倉庸寛



本委員会では、乳幼児期における子どもの豊かな育ちについて学びを深めると共に乳幼児教育に関わる全教職員を支援し、地域における幼稚園、認定こども園の教育力の向上を目指して、今年度、以下の事業に取り組みます。

1. 栃木県幼稚園教育研究大会の実施。  
15分科会を設定し、二日に分けて対面式で実施します。※午後から四時間のみ。
2. 質の向上に向けた研修の充実。  
セオリー研修、テクニカル研修事業、各三講座を計画しています。
- ※私学助成園の補助対象研修となつていきます。
- (2) 資質向上研修  
五講座を計画しています。視察研修、公開保育研修は人数を制限

して実施します。今年度の「幼小連携研修」は鹿沼市の実践事例の発表から学びを広げ、実際に取り組めるきっかけになればと考えています。

(3) 0・1・2歳児研修  
乳児担当教員向けに3講座を計画しています。幼児の担当者でも子どもの発達理解を深められる内容となればと考えています。

(4) 免許状更新講習  
今年度は選択研修分の六時間を実施いたします。コロナ禍にあり、後半の日程で行います。

最後に、昨年度実施した「教育研究チャレンジ事業」ではたくさんの方々に参加頂けたことに感謝致します。今回だけにならずに、ぜひ継続して各園、園内研修を「継続」して頂ければ幸いです。

## 経営研究委員会 委員長 栗原森人



コロナ禍の中、幼児を取り巻く環境が大きく変化している中、教育機関としての幼稚園で、

子ども達にどんな教育を与えて行けば良いか。幼児の教育に力を入れるのが、教育効果が一番高いと言われている。経済だけが大切なわけではないが、経済効果という指標は、子どもたちにとっても良い経験を積めるということだと考える。

変化といえば、大学のリモート授



業、様々なリモート会議等、ITを活用したコミュニケーションが多くなり、対面でのコミュニケーションが減ってきている。それに伴い、飲食店や観光業など、人が集まり、対面で交流して楽しむ場所の営業が困難になっている。

ネットには情報があふれている。情報が多すぎてどれが正しい情報なのか判断することが難しいことがある。正しさとは、愚かさとは、それが何か判断できる情報を経営者同士で共有できるように、連携を深めていきたい。

「子育てするなら柘木県」と言われるようになるために、そのために幼稚園と認定こども園の経営者は何を情報交換し、何を協力して行けば良いか、会員の皆様と意見交換しながら研究して行きたい。

認定こども園委員会

委員長 黒田光泰



昨年度に続き新型コロナウイルスは変異しながら猖獗を極め、国内でのワクチン接種は遅滞し、年内に終息する蓋然性は低いと考えています。よって、今年度予定している二つの研修会は、十分な感染症対策を講じた会場での開催とリモートによるオンライン開催のハイブリッドを予定しています。今年度の事業(研修会)のテーマは、【認定こども園や幼稚園を取り巻く環境につい

て】で、(1)「こども庁」構想はどうなっているのか、(2)国が示す今後の教育政策や方針、(3)選択的週休三日制とその影響について、(4)処遇改善加算改正の是正問題等、認定こども園や幼稚園の安定運営において知るべき大切な内容となっています。第一回は六月八日(火)に全日私幼の認定こども園委員会副委員長・石田明義先生を招き、現状の最新情報と今後の方向性とその対策を考える研修会を開催し、第二回は十一月十七日(水)に、現在の新制度を牽引している内閣府の担当官を招いての実務的な内容と国の考えているこれからの方針について学ぶ研修会を開催する予定です。今年度、認定こども園委員会において新に選任されたメンバーは二年目となり、有能な委員メンバー各位と一層協力して実施する二回開催予定の研修は必ずや各園の運営に役立つ研修内容であると確信していますので、鋭意ご参加をお願いいたします。

青年部委員会

委員長 青柳貴也



青年部委員会では、毎年、全体委員会として研修会の開催、保育の幅を広げるための県内外の施設見学、新規採用宿泊研修や教育研究大会分科会等研修会への協力を行っております。

今年度は、コロナウイルスの影響

で施設見学は中止せざるを得ませんが、各研修会へは積極的に参加、協力いたします。

青年部委員会のメリットとして、研修会や会議等で顔を合わせた際、気軽に意見交換をしたり、時には悩みを相談し、様々な情報を共有することが出来ます。しかし、昨年より一堂に集まるのが難しくなり顔を合わせる機会が大きく減ってしまいました。そこで、今年度は「悩み感」として、各メンバーが抱えている悩み(コロナ禍での保育の工夫やICT

オリンピック聖火ランナー

(認定こども園茂木愛泉幼稚園・篠原真木子副園長)

産まれた町で、母がひらいた幼稚園を引き継ぎ、少子化で子どもが減っていてもこの町で育つ子どもたちに未来をつなぐ仕事をしています。いつか、いつでも、育つた町に子どもたちが戻ってこられる場所づくりに励んでいます。

小さな町でも「子どもたちに夢を与えたい」。そして「夢を叶える意欲をもつ子どもたちを育てたい」と思ってランナーに応募しました。私がランナーになることで、子どもたちに、夢を叶える素晴らしさを伝えたいです。未来に希望



導入、保育運営等)を、グループフォームにてアンケートで集め、オンラインミーティングにて話し合いの場を設けたり、悩みに添った講師をお呼びすることで、子どもたちのより良い環境の充実を図る為に委員会の運営を進めてまいります。

コロナ禍による多くの制限の中、新たに挑戦できることを模索し、青年部委員の皆さんのお力をお借りし、子どもたちの未来に繋げていける取り組みをしていけたらと考えております。

新聞記事

「夢を叶える意欲をもつ子どもたちを育てたい」と思ってランナーに応募しました。私がランナーになることで、子どもたちに、夢を叶える素晴らしさを伝えたいです。未来に希望

Table with 2 columns: 第8区(上三川町) and 第9区(那須烏山市). It lists various locations and names associated with the torch relay route.



「学びを止めない」  
今年度の研修がスタートしました

コロナ禍にあつて、昨年度、研修の進め方を模索してきましたが、各種研修を中止にはしないことを前提に、感染症対策を講じて、今年度の研修を進めていきたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、実施方法の変更が生じることもあるかと思ひますが、栃幼連を通じた各園へのメール送付や、幼児教育センターWebサイトへの掲示によって、必要な情報がある時には随時お伝えしていく予定です。引き続き御理解と御協力の程、よろしくお願ひいたします。

新規採用幼稚園教諭等研修

四月二日に第一日を実施し、若さとやる気に満ち溢れる新規採用幼稚園教諭等二〇三名の研修が、総合教育センターを会場に、スタートを切りました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、午前と午後の二部制での実施となりました。開講にあたり、栃木県幼稚園連合会、栃木県保健福祉部こ



ども政策課、栃木県教育委員会を代表し、堀江賢幼児教育センター長から挨拶があり、新たに幼稚園教諭等となった先生方へのエールが送られました。

研修オリエンテーションの他、「教師・保育教諭として」「幼児期の教育の基本」「保育の実践と省察」の講話を通して「失敗を恐れずどんどん挑戦していきこうと思つた」「子どもとの発達を踏まえた環境の構成をしていきたい」「その行動が子どもにとってどのような意味があるのか考えていきたい」などの感想が寄せられました。

生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である幼児期の教育に携わっていくことの責任を受け止めながら、子どもとの関わりを深め、学び続けていけるよう、職員一同、応援させていただきます。

幼稚園等教職五年目研修

五月十二日に、総合教育センターにて第一日を実施しました。今年度の受講者は一三一名となり、過去最大の人数を迎えての実施となりました。

「教職五年目への期待」「幼児期に育みたい資質・能力」「栃木県教育振興基本計画2025」「幼児・園児とものとの関わり」教材とは何か、「環境を構成する際の教材の工夫」「保育中の危機管理」の講話や演習等を行いました。盛りだくさんの内容になりましたが、受講者から

「これまでの経験で考えてしまひ、その子の特性を見落としかちなことに気付いた」「安全面ばかりに気にかけて介入になつていた」「日頃は必要な教材を用意して製作を行うことに偏りがちだった」などの感想が寄せられ、日頃の保育経験を、講話等の理解に繋げている姿が多く見られました。



初心を忘れることなく、学んだことを日々の保育実践に改めてつなげていけるよう、研修を通して支援していきたいと思ひます。

幼児期に育みたい資質・能力について  
リーフレットを作成しました



自発的な活動としての遊びを通して、具体的にどのような資質・能力が育まれていくのか、そのために大切にしたいことはどのようなことなのか等、事例を通して分かりやすくまとめました。日頃の保育実践や園

内研修等で、ぜひ、御活用いただけたいと思ひます。

研修の申込みはこちらから

研修の申込みは、こちらの研修案内(三月送付)を御活用ください。研修内容と申込書が一体となっております。また、今年度よりQRコードによるWeb上での申込みが可能になりました。ぜひご活用ください。



センター職員紹介

● 幼児教育指導員 野中 悦子  
現 ゆうゆう保育園 園長



マスコットキャラクターの  
ピョちゃんですピョッ!

よろしくお願ひいたします

- 小倉幼児教育指導員
- 富川指導主事
- 天川指導主事
- 高根沢副主幹
- 野中幼児教育指導員
- 前原副主幹
- 堀江センター長
- 神長顧問



## こども政策課だより

四月の定期異動により、子ども子育て支援班では高谷主任、小池主事が配属となりました。また、高岩主任は感染症対策課兼務となりました。

引き続き幼児教育・保育や子育て支援の充実に努めて参りますので、本年度もよろしく願います。



- 塚田主事
- 石下主任
- 小池主事
- 高谷主任
- 菅谷主任
- 谷川係長
- 齋藤子ども
- 田中島課長
- 寺内主幹兼 課長補佐 (総括)
- 和氣課長補佐
- 子育て支援班長

## 学校基礎調査について

例年、私学助成を選択する幼稚園に対し教職員等の確認のためヒアリングを実施しているところですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、昨年度と同様に書面による確認で実施いたします。

詳細については、対象の幼稚園に通知文を送付しますので御確認ください。

## 各種提出書類について

園則や園地・園舎、理事・監事等の変更を行った場合は、速やかに各届出を提出願います。なお、各種届出書の代表者印の押印は不要となりました。

● 学校法人の令和二年度決算書及び令和三年度収支予算書の提出期限は六月三〇日です。

● 令和二年度決算に伴う資産総額の変更登記を寄附行為で定める期日までに行い、登記済届をこども政策課まで提出してください。

## 令和三年 七月～九月までの事業予定

7月1日	④新採研公開保育
7月7日	保育セオリー講座
7月8日	拓幼PTA総会(書面表決)
7月9日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修
7月11日	就職説明会
7月27日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修
7月28日	新採研(集合研修)
8月3日	新採研(地区研修)事前打合せ
8月4日	①新採研(集合研修)
8月5日	②新採研(集合研修)
8月18日	第68回県教研大会
8月20日	バス安全運転講習会
8月26日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修
9月6日	保育テクニカル講座
9月8日	設置者・園長研修会
9月15日	※教育課程研究集会
9月17日	0・1・2歳児研修
9月30日	※トップセミナーII
※は幼児教育センター事業	

### 慶事

● 認定おおぞらこども園 落成式

令和三年六月二十六日

● 令和三年度

私学教育功労者表彰(県知事表彰)  
認定こども園かしわ幼稚園  
理事長・園長 中村京子先生

### 訃報

● 真岡市 認定こども園真岡ひかり幼稚園

元副園長 宇南山 由紀子 先生  
令和三年三月三日 逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

コロナ禍が日本に拡がり、何をすることが最善かもわからずに過ぎた令和二年度。正に未曾有の出来事であったが、それは現在も変わらずに、人々は苦しんでいる。幼稚園、認定こども園も例外ではなく、諸先生方は日々の保育や活動にご苦労されていることと思う。

思えば令和二年度は、入園式を実施するか否かの決断から始まり、様々な行事を中止、延期、形を変えての実施とあの手この手で乗り越えてこられたことと思う。令和三年度は、前年の経験があるとは言え、やはり地域の感染状況や感染症対策といったことが頭をよぎる。三度目の緊急事態宣言は解除されたものの、依然として感染者は抑えられていない。できることは手洗いやこまめな除菌などしかないが、各々しっかりと感染症対策を行うことが肝要だろう。

今年の運動会はどのようになるだろうか。オリンピックの開催の是非が世論を賑わしているが、復興・絆を謳うそれよりも自園の行事の方が心配だ。一学期の行事は縮小、中止としたが、二学期以降はワクチン等がうまく回り、昨年より賑わいのある活動ができることを切に願う。

(認定こども園大平みなみ幼稚園)

小森合 博二